

Vascular Street



Team Fighting against Heart Disease:

TFHD

TFHD Munich Conference

Team Fighting against Heart Disease

Date: August 26th, Munich 16:30 to 18:00
Hotel Excelsior by Geisel, Munich
80335 Munich, Germany

Session 1 **Chairman** Prof. Takanobu Nii

New device of vagal nerve stimulation to prevent heart failure after myocardial infarction

Keita Saku, MD, PhD

Center for Disruptive Cardiovascular Medicine,
Kyushu University, Fukuoka Japan

Session 2 **Chairman** Prof. Kouki Takata

Smoking and HDL function

Satoshi Imaizumi, MD, PhD
Fukuoka University, Japan

Session 3 **Chairmans** Prof. Yoshinari Uehara
Prof. Keiji Saku

HDL metabolism, recent topics

Giulia Chiesa, PhD
Dipartimento di Scienze Farmacologiche
e Biomolecolari
Università degli Studi di Milano, Milano, Italy

Discussors

Giulia Chiesa, PhD, Keita Saku, MD,
Keimei Yoshida, MD, Mie Takata, MD,
Hiroshi Mannoji, MD, Satoshi Imaizumi, MD,
Yoshinari Uehara, MD, Takanobu Nii, MD,
Kouki Takata, MD, Junko Takaki, BS,
Kaori Urabe, BS, Keiji Saku, MD

主催：福岡大学 医学部、医学部心臓・血管内科学、福岡大学心臓・血管研究所
共催：先進循環器病治療研究会、NPO法人臨床応用科学、福岡大学寄付研究連携：心血管疾患先進治療研究講座、
心臓病未来医療開発講座、分子循環器病治療学講座。 会議後、情報交換会を行います。

TFHD Conference in Beijing

Team Fighting against Heart Disease

Date: September 22nd, Beijing 15:30 to 18:00
リージェント北京 (Regent Beijing)
88 Jichang Street, 豊城区, 100005 北京市, 中国

Session 1 **Chairman** Prof. Takanobu Nii

Coronary Heart Disease in China

Rui Liu, PhD

Division of Peptides Related with Human Disease,
State Key Laboratory of Biotherapy,
West China Hospital, Sichuan University, Sichuan

Session 2 **Chairman** Prof. Keiji Saku and Mr. Jian Shen

Smoking habits and atherosclerosis in China

Huai Bai, MD, PhD

Professor
Laboratory of Genetic Disease and Perinatal Medicine,
West China Second University Hospital,
Sichuan University, Sichuan

Session 3 **Chairman** Prof. Hisatomi Arima

Scientific Research in USA

Bo Zhang, PhD

Harvard Medical School
Boston, USA

Discussors

Satoshi Imaizumi, MD, PhD
Yoshinari Uehara, MD, PhD
Takanobu Nii, MD, PhD

主催：福岡大学 医学部、心臓・血管研究所、先進循環器病治療研究会、NPO法人臨床応用科学
会議後、情報交換会を行います。

後援：福岡大学医学部、NPO法人臨床応用科学

はじめに

「Team Fighting against Heart Disease: TFHD」は、2013年4月から2015年3月まで、福岡大学総合科学研究チームに選出(1位)された研究(代表:朔 啓二郎)のチーム名です。未だに、このチーム名での活動を継続しています。当時は、「新規合成ペプチドを用いた急性冠症候群の診断と治療法の確立」を研究テーマにしたのですが、2011年度に承認された産学官連携研究機関「心臓・血管研究所」、2014年からの基盤研究機関「心臓・血管研究所」をプラットフォームとして、心臓病の研究を遂行してきました。TFHDは、心臓病の様々な分野を専門にする医師から成り立っており、研究のみならず、各地で研究会も開催しています。今回は欧州心臓病会議(ESC)の際に行ったTFHDカンファと、中国北京市で国際高血圧学会の際に開催したTFHDカンファを紹介します。



図 1



図 2

図1はESCが開催されたドイツ、ミュンヘンの国際会議場です。ESCは現在世界最大規模の心臓病の学会に成長しました。ヨーロッパのパワーを感じます。日本からの発表は多いのですが、会場内ではほとんど会はないのですが、やはり欧州の魅力ですね。見るところがたくさんあります。図2は学会の展示場です。この雰囲気からしてモダンです。ミュンヘンと言えばビールですが、図3はミュンヘン市中心のマリエン広場、ビアホールやレストランがたくさんあって、ビールと豚脚(膝)のロースト(シュバイネハクセ) (図4)を食べるなど、楽しい雰囲気です。

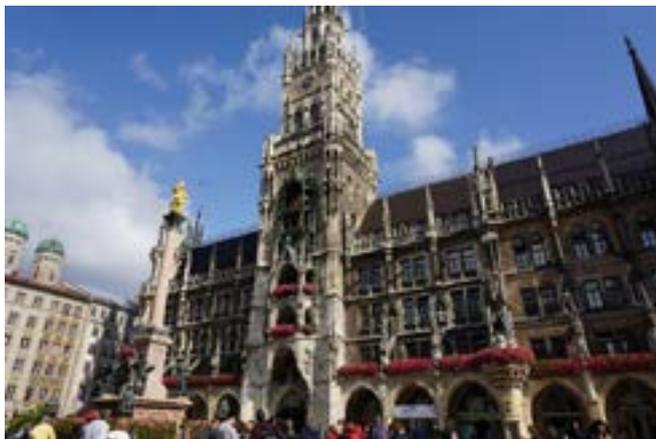


図 3



図 4

TFHDカンファ in Munichでは、イタリア、ミラノ大学の生化学者Giulia Chiesa教授をおよびして、HDLに関する最近の話題を話していただきました(図5)。大変興味深く聞かせていただきました。この会の直前には、スイスのKempen教授と共同研究の打ち合わせをしましたが(図6)、TFHDカンファは様々な研究のシーズを求めています。

Prof. Giulia Chiesa



図 5



図 6

研究会終了後に近くのビールハウスで食事しましたが(図7)、ドイツ料理は2日で飽きますね。あまりダイレクトには言いづらいものがありますが、うんざり来ます。



図 7

さて、2018年9月には北京市で国際高血圧学会 (ISH) が開催されました。1996年に荒川名誉教授がグラスゴーで会長をされましたが、その当時の ISH の大きさはありません。降圧薬の開発が一段落着いたのでしょうか、割と地味な学会でした。TFHDカンファ in Beijing では、以前、私のラボに留学、医学博士を取得した、劉ルイ先生、白ファイ教授、現在米国はハーバード大学留学中の張波先生を呼んで、それぞれの仕事を発表していただきました。ホテルはきれいなホテルで(図8)、研究会も雰囲気良く、福岡大学衛生・公衆衛生学の有馬久富教授にも参加していただきました。研究会終了後、北京市で有名な北京ダックのお店に行きましたが(図9)、こんなにたくさん北京ダックを食べたのは初めてでした。





図 8



図 9

図10は朝ご飯を食べた街中の食堂ですが、張先生夫妻が案内してくれたので安心でした。とってもおいしかったです。そのほか、中国のお茶屋さん(図11)、繁華街にあるモンゴル料理の店ですが(図12)、さすがに写真撮るだけで、食べれなかったですね。



図 10

図 11

図 12



Prof. Saku's Commentary

海外に行くと当然海外の人と話す。人それぞれ、個性が違うのですが、食べるという行動においては一致します。人間は食べては出す、食べては出す、この繰り返し、このバランスが動的平衡を保つのに重要なのです。つまり、人は生き続けるために食べ続けなければならない、ということですね。動脈硬化の動的平衡、これを私のライフワークにしてきたのですが、人生すべてに通じる感覚を持っています。